



北陸地方整備局建政部

記者発表

扱い：配布後解禁

令和4年1月25日

『北陸ウォーカブルシンポジウム 2022』を開催します！

近年、陳腐化し、にぎわいを失ったまちなか空間を居心地がよく歩きたくなる空間に転換する「ウォーカブル空間形成の取組み」の必要性が高まっています。

国土交通省が進める「まちなかウォーカブル推進事業」の先行都市による取組み事例の紹介とあわせて、北陸地方で取り組むウォーカブル空間形成の意義や概念について、意見を交わすことを通じて機運醸成を図るため、『北陸ウォーカブルシンポジウム 2022』を下記のとおり開催します。

記

- 開催日時 令和4年2月9日(水)9:30 ～ 12:00(予定)
- 参加方法 zoom ウェビナーを活用したリアルタイムオンライン配信
※会場参加は自治体職員の皆様優先とし、先行案内しております。
- 参加費 無料(事前申込制) ※添付チラシの URL をご参照ください
- プログラム

○講演「ウォーカブル政策の概要と北陸地方における取組み状況」

音瀬 肇(国土交通省 北陸地方整備局 建政部 都市・住宅整備課長)

○パネルディカッション「北陸は”ウォーカブル”にいかに取り組むか？」

ウォーカブルに関する話題提供やクロストークを通じ、取組みの意義や効果のほか、「はじめての一步」の踏み出し方についてノウハウの共有を図ります。また、参加者からの質問・意見をもとに、取組みを効果的に進めるための手法について考えます。

パネラー :新潟県新潟市
新潟県長岡市
富山県富山市

コーディネーター:音瀬 肇

■取材について

・報道関係者で取材を希望される方は、下記にお問合せください。

発表先

(新潟県) 新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
(富山県) 富山県政記者クラブ
(石川県) 石川県政記者クラブ

問合せ先

国土交通省 北陸地方整備局
建政部 都市・住宅整備課長 音瀬 肇
TEL 025-280-8755 (直通)

北陸ウォーカブル シンポジウム2022

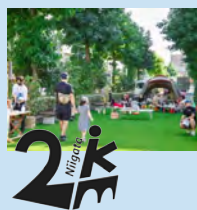
～afterコロナ時代に向けた官民連携まちづくりの進め方～

少子高齢化に伴う財政の逼迫、ライフスタイルの多様化、ニューノーマルにおける「居心地が良く歩きたくなる空間」の必要性の高まり等を背景に、まちなかの公共空間を人中心の空間に転換する「ウォーカブル空間形成の取組み」が求められています。

本シンポジウムでは、北陸地方のみなさまと一緒に、ウォーカブル空間形成の意義や概念について学ぶとともに、先行都市による取組み紹介などを通じ、「ウォーカブル空間形成の取組み」の機運醸成を図ります。

先行都市紹介

新潟市



新潟市では、新潟駅のリニューアルをはじめ、まちづくりの大きな転換期を迎えるなか、「新潟都心の都市デザイン」の具現化に向け、旧新潟駅前通のリデザイン等、都心軸の「にいがた2km」でウォーカブルなまちづくりを推進しています。

長岡市



長岡市では、これまでの駅周辺の都市機能の更新と再集積による「まちなか型公共サービス」に加え、官民連携により公共空間を活用し、まちの居心地を高め、人の流れと賑わいをまち全体に広げていきます。

富山市



路面電車南北接続を契機に、富山駅周辺が生まれ変わりつつあります。これまでの都市アセットを活かし、エリア全体の更なる魅力化や付加価値の向上に向けて、官民連携による南北一体的なまちづくりを推進しています。

日時

2022年2月9日(水) 9:30～12:00

オンライン配信のURLを配布する予定ですので、そちらからご参加ください。

参加方法

事前申込制(参加費無料)

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、zoomウェビナーを活用したオンライン配信を予定しております。

下記URL又は二次元バーコードより、お申込みをお願い致します。



<https://reserva.be/hokuriku>

申込締切 2022年2月4日(金)まで

問い合わせ先

「北陸ウォーカブルシンポジウム2022」事務局
日本工営株式会社
担当：今場・安池
電話：070-2658-9328
E-mail：ml-hokuriku-wakable-survey@dx.n-koei.co.jp

プログラム

講演 ウォーカブル政策の概要と 北陸地方における取組み状況



国土交通省 北陸地方整備局 建政部
都市・住宅整備課長 音瀬 肇

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成に向けた施策について、目的や概要、支援制度についてご説明します。

また、豪雪地帯に含まれるウォーカブル推進都市を対象としたアンケート調査(今年度実施)をもとに、北陸地方におけるウォーカブルの取組み状況について報告します。

パネルディスカッション 北陸は “ウォーカブル”にいかに関与する？

登壇都市：新潟県新潟市、長岡市、富山県富山市

ウォーカブルに関する話題提供やクロストークを通じ、取組みの意義や効果のほか、「はじめの一歩」の踏み方についてノウハウの共有を図ります。また、参加者からの質問・意見をもとに、取組みを効果的に進めるための手法について考えます。